

様式第二号の八（第八条の四の五関係） （第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和5年 11月27日

吹田市長 様

提出者

住所、大阪府吹田市芳野町18番23号  
氏名、昭和化工株式会社  
代表取締役社長 小椋 浩之介  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号、06-6384-1501

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	昭和化工株式会社 本社工場
事業場の所在地	大阪府吹田市芳野町18番23号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	別紙 1, 2 のとおり
(管理体制図)	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	別紙 1, 2 のとおり		
①現状	【前年度 (      年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項	別紙 1, 2 のとおり
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

## 別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度（      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		別紙1, 2のとおり	
①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		別紙1, 2のとおり	
①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

		【目標】	別紙 1, 2 のとおり	
②計画	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t	t
	再生利用業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)  
 現状：前年度(令和4年度)実績量  
 計画：今年度(令和5年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類		排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
コード	名称	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+④)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
200	汚泥2B	0.420	3.000									0.420	3.000	0.420	3.000	0.420	3.000				
200	汚泥A-1	44.380	60.000									44.380	60.000	44.380	60.000	0.000	0.000	44.380	60.000		
200	汚泥B-1	1720.000	2300.000					1283.920	1800.000			436.080	500.000	436.080	500.000	0.000	0.000	436.080	500.000		
200	汚泥B-3	0.000	15.000									0.000	15.000	0.000	15.000	0.000	15.000				
200	汚泥B-4	36.210	60.000									36.210	60.000	36.210	60.000	0.000	0.000				
200	汚泥B-4-1	0.370	0.500									0.370	0.500	0.370	0.500	0.000	0.000				
200	汚泥D	31.660	28.000									31.660	28.000	0.000	0.000	0.000	0.000				
200	汚泥I	7.580	20.000									7.580	1.500	0.000	0.000	0.000	0.000				
200	汚泥J	40.020	5.000									40.020	10.000	40.020	10.000	12.240	10.000				
300	廃油M	15.660	0.300									15.660	0.300	15.660	0.300	15.660	0.300				
311	廃油L	0.180	0.300									0.180	0.300	0.180	0.300	0.180	0.300				
400	廃酸C-1	50.000	45.000									50.000	15.000	50.000	15.000	50.000	15.000				
400	廃酸K	2.610	10.000									2.610	10.000	0.000	0.000	0.000	0.000				
400	廃酸L	8.140	10.000									8.140	10.000	8.140	0.000	8.140	10.000				
600	廃プラA-3	8.830	8.000									8.830	8.000	8.830	8.000	8.830	8.000				
600	廃プラA-4	0.000	0.020									0.000	0.020	0.000	0.020	0.000	0.000				
600	廃プラA-5	15.750	15.000									15.750	15.000	0.000	0.000	15.750	15.000				
600	廃プラA-6	1.110	1.000									1.110	1.000	1.110	1.000	1.110	1.000				
600	廃プラA-7	33.425	30.000									33.425	30.000	0.000	0.000	31.675	30.000				
600	廃プラA-8	20.640	20.000									20.640	20.000	20.640	20.000	0.000	0.000				
600	廃プラA-9	0.068	0.000									0.068	0.000	0.068	0.000	0.000	0.000				
700	紙くず	0.000	2.000									0.000	2.000	0.000	2.000	0.000	2.000				
800	木くず	42.030	45.000									42.030	45.000	42.030	45.000	42.030	45.000				
1300	ガラスくず	50.000	35.000									50.000	35.000	0.000	0.000	50.000	35.000				
1300	ガラスくずB	0.500	0.500									0.500	0.500	0.500	0.000	0.000	0.500				
2510	電池類	0.000	0.500									0.000	0.500	0.000	0.500	0.000	0.500				
2522	蛍光灯類	0.109	0.700									0.109	0.700	0.109	0.700	0.109	0.700				
合計		2129.692	2714.820	0.000	0.000	0.000	0.000	1283.920	1800.000	0.000	0.000	845.772	871.320	704.747	741.320	236.144	191.300	480.460	560.000	0.000	0.000

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合限り、空欄へ産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。  
 ※数量に関しては、小数点以下3桁表示として記入してください。

別紙2 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	16 : 化学工業
②事業の規模	売上高 : 12,280百万円
③従業員数	166人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図等、別紙を参照)  
別紙のとおり

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 脱水機更新をしたことで以前より安定的に処理出来ております。
②計画	(今後実施する予定の取組) 排出している汚泥の成分分析をもとに、産廃処理コスト削減と環境負荷低減目指します。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、廃油、汚泥、廃酸、紙くず、木くずはそれぞれ分別保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし



5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

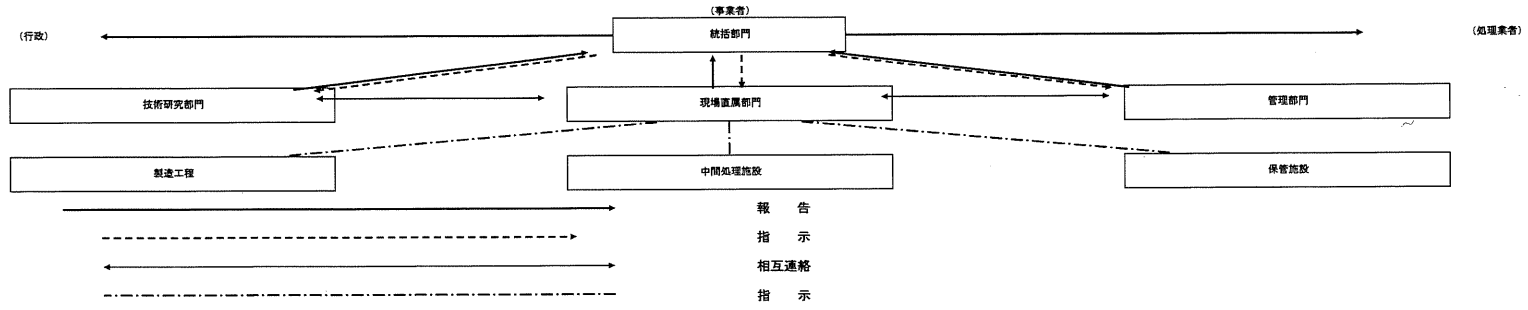
①現状	(これまでに実施した取組) 特になし
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 廃酸は一部セメント助燃剤（調整）として再利用、廃油は再生利用、紙くずは破碎しリサイクル、木くずは破碎しペレットに再生。
②計画	(今後実施する予定の取組) 再生利用できるものがないか検討を進めていく。



別紙  
 運行資料 管理体制図及び各部署の役割  
 【管理体制図】



【各部署の役割】

部署	役割
A	- 廃棄物処理物の発生から処分に至るまでの種別等を作成して統括的に把握管理
B	- 廃棄物処理物の運搬、仕入、廃棄量及び排出量等の把握
C	- 製造工程の研究開発
D	- 廃棄物処理物の適正処理費用の算出